

SERIES 市町村体育協会だより

## 大船渡市体育協会

平成18年度より大船渡市指定管理者として、大船渡市民体育館・大船渡市営球場・市民テニスコート等の社会体育施設や働く婦人の家・青少年ホームの労働者福祉施設等、20カ所を超える施設の管理運営を行って参りましたが、昨年の3月11日に発生した、東日本大震災により、半数を超える施設が被害を受け、また被害を免れた施設においては、仮設住宅が建設され日々の活動が十分に行えない状況になってしまいました。

しかしこの状況下の中でも、体育協会としてできることからやっつけていこうと、利用できる施設は限られていたものの、市民の体力向上と健康維持が重要であると考え、様々な課題等も想定はされましたが、各種大会・スポーツ教室・各種講習会・講座等また、スポーツ少年団活動等においても事業を展開していくことを基本計画とし実施しました。

震災後の一大イベントで、毎年行われていた「大船渡新春四大マラソン大会」は、震災の発生で、各種スポーツ大会の中止や延期がされる中ではありましたが、困難な時だからこそ実施し、大船渡を元気に、大船渡がこの難局に負けずに頑張っている姿を発信することと震災からの復興を目的とし開催。マラソン公認コースのほとんどが浸水。再

測定、コース変更と、がれきの中のコースを走らせるため、細心の注意を払いながら何が起こるか予想がつかない中での準備、参加者がどれ位集まってくれるのか等、様々な不安がありましたが、県内外からの多くの申込みで例年並みの参加者、各種団体・企業より多くのご支援、ご協力をいただき、盛大に開催する事ができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

また震災の被害を免れたB&G海洋センターでは、昨年11月より毎週、仮設住宅に入居されている高齢者の方々を対象に軽度な運動や体操、コーディネーショントレーニングやニュースポーツ体験等、楽しくエクササイズをしています。軽く動いて汗を流してもらい、休憩時にはお茶を飲み、お菓子を食べながら世間話、笑い声が絶えません。終了後は、「また来週も来っから」と笑顔で一言。笑顔こそがストレス発散という被災者にとって重要な役割を果たすことができていると感じています。今年4月からは、B&G海洋センターを拠点に総合型地域スポーツクラブ「SUN陸リアススポーツクラブ」がスタートします。地域に根ざしたクラブをめざし、地域住民のニーズに合った活動をしていきたいと考えています。

復旧・復興そして震災前の心境に戻るための時



間はまだまだ必要です。市民一人ひとりがスポーツを楽しみ、多くの方々と交流できる機会を体育協会が提供し、全ての方々の「笑顔」を取り戻せるようスポーツ環境の充実に今後も努めていきたいと考えています。